

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【公開番号】特開2021-94338(P2021-94338A)

【公開日】令和3年6月24日(2021.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-028

【出願番号】特願2019-229469(P2019-229469)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 3 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月27日(2021.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する第1制御手段と、

演出を制御する第2制御手段と、

第1ベットランプと、

第2ベットランプと、

第3ベットランプと、

所定の表示手段と、を備え、

第1制御手段は、第1ベットランプ、第2ベットランプ、第3ベットランプの点灯状態を制御可能であるよう構成されており、

第2制御手段は、所定の表示手段の表示内容を制御可能であるよう構成されており、

所定の表示手段には、ベット数1に対応する表示と、ベット数2に対応する表示と、ベット数3に対応する表示と、が表示可能であるよう構成されており、

ベット数が0であり、且つMAXベット可能な状況において、MAXベットスイッチが操作されると、第1ベットランプと、第2ベットランプと、第3ベットランプと、が略同時に点灯可能となるよう構成されており、

ベット数が0であり、且つMAXベット可能な状況において、MAXベットスイッチが操作されると、ベット数1に対応する表示と、ベット数2に対応する表示と、ベット数3に対応する表示と、が所定の表示手段に順番に表示可能となるよう構成されている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明は、以下のような特徴を備えている。なお、以下の特徴構成の説明では、後述する実施形態において対応する構成の一例を括弧書きで示している。

本発明に係る遊技機は、遊技の進行を制御する第1制御手段と、演出を制御する第2制

御手段と、第1ベットランプと、第2ベットランプと、第3ベットランプと、所定の表示手段と、を備え、第1制御手段は、第1ベットランプ、第2ベットランプ、第3ベットランプの点灯状態を制御可能であるよう構成されており、第2制御手段は、所定の表示手段の表示内容を制御可能であるよう構成されており、所定の表示手段には、ベット数1に対応する表示と、ベット数2に対応する表示と、ベット数3に対応する表示と、が表示可能であるよう構成されており、ベット数が0であり、且つMAXベット可能な状況において、MAXベットスイッチが操作されると、第1ベットランプと、第2ベットランプと、第3ベットランプと、が略同時に点灯可能となるよう構成されており、ベット数が0であり、且つMAXベット可能な状況において、MAXベットスイッチが操作されると、ベット数1に対応する表示と、ベット数2に対応する表示と、ベット数3に対応する表示と、が所定の表示手段に順番に表示可能となるよう構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

参考態様の遊技機は、リールと、ストップスイッチと、停止ボタンランプ（例えば、ストップスイッチランプ）と、を備え、ストップスイッチが操作されたことに応じてリール停止制御（例えば、減速開始処理）を実行可能であり、リールの回転状況に応じて停止ボタンランプの点灯態様を制御可能である遊技機（例えば、スロットマシン）であって、リールの定速回転中に電源断が発生しその後に電源復帰してリールが再回転した場合は、再回転したリールが定速回転した後に、ストップスイッチが有効に操作可能となり、停止ボタンランプは有効を示す態様に制御され、リール停止制御実行中に電源断が発生しその後に電源復帰してリールが再回転した場合は、リールの再回転中においては、ストップスイッチが有効に操作可能とならず、停止ボタンランプは無効を示す態様に制御されるように構成されることを特徴とする。